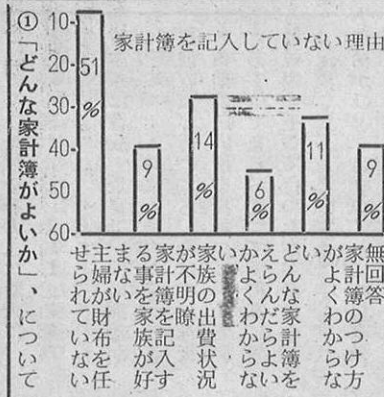


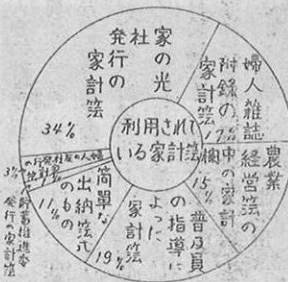


家計簿を つけまし よう

「やつた方がよい」とわかっていて、「今年こそやりぬこう」と毎年正月を迎える度に固く決心しては、年末には殆どきまつて「やつぱりつづかなかつた」と悔いを残すことの一つは、家計簿をつけることです。県下の主婦二〇〇名について家計簿記入状況のアンケート調査をやった結果、「記入している人」七三%、「記入していない人」二七%と云う現状がわかりました。そして、「記入していない人」の記入しない理由が、左の図表に示すとおりでした。

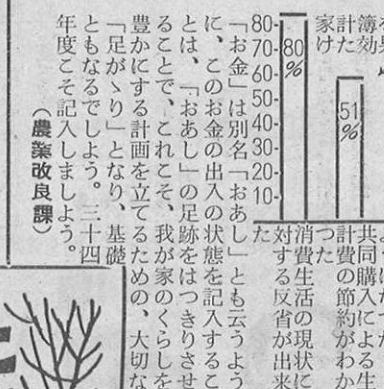


は、職業によつてそれ、適否がありますが、農村地域では、次表のようものが利用されているようです。けれども、



どんな家計簿でも、「つけやすい」と思っている人は80%で「あまりつけよくない」と思っている人が50%となつているところから、どの家計簿を利用する場合でも、我が家の職業や、家族の状態に合った家計簿の活用、更に一つ一つつければ、家計簿記入が楽しい中に、その家らしく、合理的な結果が出ると思えます。

②「家計簿をつけてどんな効果があつたか」と云う「問い」に対して、次のような回答がありました。



☆ 年末の防犯 ☆ 師走の街を安全に 増える強盗

道ゆく人の足許もあわただしく、何となく地につかない年の瀬。おちつけ、というとおかしいようですが、こうした浮いた足許と心のスキにつけこむのが泥棒です。

師走は一年の総決算期といわれ、商品や現金の取引がひんぱんに行われ、スリや万引、かつぱらいの動きやすいときでもあり、それに最近では強盗、殺人などの兇悪な犯罪が相次いでおきています。この状況ですから、もつと防犯に関心を寄せなければならぬときだといえます。

県警察では、いま、師走の町を安全に、一、七〇〇の警官を街頭にくり出し、パトロールをひんぱんに行つて、防犯態勢を整えています。とにかく次のようなことを呼びかけています。か、みんなが面倒くさがらずによく守り犯罪の被害にからぬように心がけましょう。

スリ・かつぱらい
出し、そのほかボーナス、買い物などでたくさんのお金を、身につけて外に出がちで、これを幸いとツメをといでいるスリや強盗もいます。

なるべく多くの金の持ち歩きは差しひかえ、やむをえないときは、たしかな同伴者をつけるとか、分散してしまつておくとか、いつも細心で厳重な警戒を怠らないことが必要です。銀行からの引き出しや心配なときなどは、いつでも交番へ相談してもらえば、責任をもつて、送りむかえたいと思います。

また、金を持つての夜の商談や買い物は、つけられるおそれがあります。用件はなるべくひる間にかたづけしておきましょう。

うますぎる話のウラにはわながある。
にせ商品をほんものようにみせかけたり、地方なまりをうまく使つて行人に化けたり、そのほか手や品をかえて人をだますサギ、ボロもの商談でおびき出す強盗も年末には増えてきます。後海先にたらず、いま一度
※うますぎる話にはわながある
※飲ばると損をする

走

師

年末の 商工融資



中小企業の年末 金融について

いよいよ本年も年末にかり、県下中小企業の方々にとつては、年末の仕入、代金決済資金等について調達するかどうか、当面の問題であると思われまうので、県としては、財政資金の中から一億五千万円を商工中金、相互銀行、信用金庫、全信連等の中小企業専門金融機関に預託し、平常より日歩五厘で貸し出し、金利で県内業者の方々に利用してもらふこととなりました。昨年末は、八千万円を預託したわけですが、今年度は、米の豊作による農村を中心とした消費購買力の増加と、これに伴う資金の要求が活発になることを予測し、前回に比べて大巾に七千万円を増額預託しました。また、この県の預託と協同して各市町でも県下で県と同額程度の預託が行われるよう望んでいます。このため、三億円以上の

預託金が中小企業むけ資金として貸出されることとなります。一方、国民金融公庫でも大中に枠の増大を図り、十一月末日までには申込をするよう要望しており、肥後銀行では、一般の年末融資とは別に三億円の特別融資の制度を設け、取引のある人、はじめて借入の区別をせず、熊本県信用保証協会の保証付きで融資されることになっており、商工中金、相互銀行、信用金庫、信用協同組合においても、それぞれ積極的に融資するという態勢がとつています。

県では、かねてから中小企業金融を円滑にするため、全力を挙げてその対策を進めているところですが、多年にわたつて誘致運動をして来た中小企業金融公庫熊本支店(熊本商工会議所ビル二階)及び国民金融公庫八代支所(八代市松江城町)が本年七月に時を同じくして開店され、政府資金の導入に成果を挙げているので、双方とも積極的に利用されるよう要望しています。

以上のように、いちはや貸出の資金量については準備がととのつてはいるわけですが、要は資金を本場に必要とする人が借れなければ画餅に過ぎないのであつて、その場合、借入の信用状態が問題になり、中にはやや信用力に乏しいとか、担保力が不足であるとかいう理由で、せつ

かくの機会に円滑に融資を受けられない人も出て来るわけです。これを補い、信用保証の万全を期するために、熊本県信用保証協会に本年度において保証をするための基金として五百万円を出し、その保証力の増加を図り、玉名市及び本渡市に支所の増設計画を樹立し、玉名市にはすでに十月上旬開所し、本渡市には十二月上旬開所されるよう準備を進めています。現在でも、この保証協会は五億円以上の保証残をもつて、中小企業融資を促進しているものであり、その目的遂行のために努力しているわけです。

このように、資金の準備もでき、貸出の窓口も整備され、信用保証の態勢も確立されていますので、要は借入側の受入態勢をととのえて、みづから最も適当だと思われる金融機関の窓口相談をすることです。

年末はどこでも資金借入の申込が殺到し、申込が遅れたために、せつかくの資金が余り役に立たないという例もたくさんありますので、できるだけ早目に相談を持ち込まねばなりません。

いろいろ判りばりな点などがあれば、各金融機関の本支店の窓口でも良いし、市町村、商工会議所或は県事務所の経済課、県商工課に出向ければ、いつでもご相談に応じ、またご指導をすることになつていきます。(商工課)

☆ 県税はあなたも私もそろつて完納 ☆

「自主納税促進月間」が始まる
十一月二十五日から十二月二十五日まで
納税者皆さんのご協力を心からおねがいます

①「どんな家計簿がよいか」について

ということを思い出して下さい。

◎居直ることもある。嚴重な戸締りを、泥棒が家人に見つけられ、強盗に居直つた事件も最近おきています。この被害家庭の殆んどが戸締りができていなかったところからはいわれています。

戸締りを嚴重にすることは、泥棒をよせつけないのと同時に、侵入強盗や居直り強盗の被害防止にもつながるわけであり、又錠には多くの種類がありますが、一つかけておくだけでなく、いくつかを組合せて二重、三重に備えることが大事です。特にカギの補助として、目だたないサシキギが効果があります。

◎現金や貴重品は安全な場所へ、タンスの小出しに現金や指輪、時計などをまとめてしまつておくことは危険です。ヘソクリ以上の神経で、安全な場所へ分散しておきましょう。こうしておけば万一被害にかかつたときでもつそりやられる心配がありません。

◎現場はそのまま、すぐ警察へ、犯罪現場には、いろいろの証拠が残されています。足跡、指紋、たばこの吸いがら、髪の毛一本でも立派な証拠で、戸障子やタンスの開け具合だけでも犯人を捜す大切な資料になります。あわててその辺をかきまわしたり、手をふれたりせず、現場はそのまま、すぐ警察へ、ということを確認し、励行して下さい。又犯人の顔かたち体格、着物などの特徴をしっかりとついで下さい。(防犯課)